



Dr. Holiday Laboratory は、本レジデンスで、2027 年度の本公演に向けて、ラッパーのジェスチャーや身振り、そこに立ち上がる身体をリサーチします。ラッパー・ビートメイカー・批評家として活動する吉田雅史と協働し、照明、ビート、リリック、マイク、観客など、ラップと演劇を成り立たせる要素を分解します。

10月4日(日)には、本プロジェクトの演出を手がける山本ジャスティン伊等と吉田雅史によるトークイベントを開催。

ヒップホップと演劇の接点や、今回のリサーチの背景について話す他、観客との Q&A も予定。

そして10月17日(土)・18日(日)には、このリサーチの現在地をショーイング『skit』として公開。

詳細・申込



料金：無料(ドリンク販売あり)

会場：Dance Base Yokohama 3F

トークイベント

10月4日(日) 開場 13:30 / 開始 14:00

山本ジャスティン伊等+吉田雅史

「リアルになること／アンビバレントであること——ラッパーと俳優の身体を考える」

今回共同でリサーチしている吉田雅史は、著書『アンビバレント・ヒップホップ』で、ヒップホップの「リアル」と演技の境界にあるラッパーのアンビバレントな主体性について論じています。

トークでは、吉田雅史と、山本ジャスティン伊等のふたりが、クリエイションのプロセスを追いつつ、ラッパーと俳優の身体に深く切り込んでいきます。

ヒップホップに詳しくない方にこそ聞いてほしい、ショーイングを見るときの手がかりになる時間にできればと思っています。

※全体：約 120 分

Dr. Holiday Laboratory

『skit』ショーイング

10月17日(土) 開場 19:30 / 開演 20:30

10月18日(日) 開場 18:30 / 開演 19:30

skit とは、ヒップホップのアルバムで曲と曲のあいだに挟まれる短い語りや寸劇のこと。

開場時間と同時に吉田雅史による DJ がスタートし、開演時間よりパフォーマンスが始まります。アルコールを含むドリンクも飲めます。立ったままでも、踊っていても構いません。途中で入っても、出ても大丈夫。写真も動画も撮って OK です。なんならそっちがメインです。

そしてその空間で、まさに skit のように、パフォーマンスが展開されます。

Dr. Holiday Laboratory

※全体：約 150 分

パフォーマンス：約 45 分

開演前とパフォーマンス終了後に、吉田雅史による DJ タイム実施。

◎北仲まちとけんちく MARKET 同日開催

(10:00-16:00 @Dance Base Yokohama 1F)

※客席は原則スタンディングです。会場内に設置した椅子もご利用いただけます。

※入退場自由。

※写真動画撮影可。ただし撮影する際は、ほかのお客さまの映り込みにご配慮ください。

※暴力的な描写、性的な言葉や再現が含まれます。

※演出の都合上、開場から終演までを通して大きな音と強い照明を使用します。

プロジェクトクレジット

演出：山本ジャスティン伊等 *

出演：石川朝日 *、油井文寧 *、渡邊まな実

音楽・DJ：吉田雅史 (口頭遊民ダコタ)

衣装：藤谷香子

照明：菅俊貴

照明操作：内山久代

音響：SKANK / スカンク (Nibroll)

リサーチ協力：ロビン・マナバット *

アートディレクション：山本浩貴 +h (いぬのせなか座)

制作：小野寺里穂 *

制作協力：小野寺朱里

助成・レジデンス協力：Dance Base Yokohama

*=Dr. Holiday Laboratory